



つながろう! 未来へ

島原半島ユネスコ世界ジオパーク

島原半島ジオパーク協議会 (☎65-5540)



「定点」① —あの日の出来事—

1991(平成3)年5月20日に出現が確認された溶岩ドームは、日に日に大きくなりました。そして5月24日にはついにその一部が崩れ、火砕流が発生し始めました。当時、火砕流という噴火現象は、日本はもちろん、世界的にもあまり目撃事例がなく、珍しいものでした。島原市北上木場町の葉タバコ畑の中を通る県道の一部は、視界がパッと開け、谷の中を流れ下る火砕流をほぼ真正面から見る事ができたため、多くの人が集まるようになりました。そしてその場所は、いつしか火砕流を撮影する「定点」と呼ばれるようになりました。

6月3日、朝から天気は下り坂でした。梅雨前線の接近に伴い、午後から雨がぱらつき始め、溶岩ドームは雲の中に隠れがちでした。午後3時半過ぎからは溶岩ドームの崩落が相次ぎ、繰り返し火砕流が発生していました。そんな状況の中、午後4時8分、溶岩ドームが大きく崩れ、規模の大きな火砕流が発生しました。水無川を流れ下った火砕流の本体は「定点」の手前で止まりましたが、火砕流と同時に発生した高温・高速の熱風(火砕サージ)は、そのまま「定

点」の周辺にいた人々を飲み込んでしまいました。

この出来事から30年が過ぎようとしています。今回は、この時の経験を未来の世代に引き継ぐ取り組みをお伝えします。

※「定点」は砂防指定地内にあるため、通常は立入りできません。



「定点」と、そこに建てられている白い三角錐 (令和2年10月9日撮影)

図書館へ行こう

～もっと身近に、島原ブランドを～ 島原スペシャルクオリティ

「新謎解きはディナーのあとで」
東川篤哉 著 小学館
警視庁に栄転した風祭警部は、大きなミス
を犯して国立署に舞い戻る。麗子の後輩に新人
の若宮愛里が加わり、新メンバーで難事件に挑
むが・・・。毒舌執事・影山の推理が冴えわた
る本格ミステリー。

今月の新刊



島原わかめ

波穏やかな有明海の島原沿岸で養殖されたわかめは、香り高く、柔らかな食感が持ち味です。ゆでて塩をただけのシンプル素材で、サラダやみそ汁などさまざまな料理に使うことができます。

島原漁業協同組合 霊南2丁目16-21
(☎62-4326)

▶問い合わせ先 商工振興課



○島原図書館

(☎64-4115)



▶開館時間 9時～18時

※金曜20時まで

▶休館日 5月3日(月)・10日(月)

・17日(月)・24日(月)・31日(月)

○有明図書館

(☎68-5808)



▶開館時間 9時～18時

▶休館日 5月5日(水)・11日(火)

・18日(火)・25日(火)

・31日(月)資料整理日

※各種イベントなどは上記の二次元コードから確認してください